

インターバンクの声（2012年12月27日）

週初から昨日までの3日間は、クリスマス休暇を中心に世界中の主要な金融市場の休場が相次ぎ、通常通りの市場展開だったとは言い難いだろう。ただ、その分を差し引いてもこの円売り相場の継続、それも85円台後半までの円安ドル高水準への到達には驚きの気持ちを抱いている人が多いに違いない。晴れて首相となった安倍自民党総裁の就任会見から新たな材料は出てこなかったが、海外勢にとっては麻生財務相の国債発行44兆円枠にこだわらない大型の補正予算を組むとのコメントが、安倍政権の大胆な金融政策を実現させるとの強い姿勢の一端を窺わせたとして円売りを加速させたようだ。

そもそも11月中旬以降、やや過激とも囁かれた安倍自民党総裁の日銀への強力な金融緩和を促す発言が度々飛び出し円安に動意し始めたわけだが、その頃の市場の大半の見立ては82円到達がいい所といったものだった。現実は見ても通りだが、俄かに少数派になってしまった感もある円高論者の、速過ぎる円安とはしゃぎすぎの相場には必ず大掛かりな円の買い戻し修正があるはず、との声には一応謙虚に耳を貸す時期ではありそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。